

平成 27 年 2 月 10 日
(公財) 日本体操協会
審判委員会委員長
竹内 輝明

審判委員会からのお知らせ

先般、開催された平成 26 年度全国代表者連絡会議にてご連絡いたしました本協会 1 種公認審判員のカテゴリー制の導入及び本協会主催全日本選手権（世界大会代表選手選考競技会）に出場する監督・コーチの 1 種審判講習会受講に関するお知らせをいたします。

該当する監督、コーチ、審判員の皆様におかれましては、各都道府県協会（連盟）で開催される講習会（別紙参照）を受講されることをお願いいたします。

1 1 種審判カテゴリー制導入について

全国の審判員育成を図りより精度の高い審判業務を遂行するため、2017 年（平成 29 年度）より体操男子・女子、新体操女子において 1 種審判カテゴリー制を導入します（D 審判資格からの移行）。トランポリンについては、審判の役割を調整しながら検討します。

カテゴリー認定試験は、2016 年（平成 28 年度）リオデジャネイロオリンピック後の規則改訂にあたる 1 種審判義務研修会で実施します。カテゴリー試験の結果により 1 種審判資格の降格や失効はありません。試験は、毎年実施しより上位のカテゴリーが取得できるようにします。1 種審判登録は、現行通りで特に変更はありません。

カテゴリー制導入年次推移

年 度	導入までの手順
2014 年 平成 26 年度	各種別 D 審判試験実施
2015 年 平成 27 年度	日本体操協会主催大会 D 審判に D 審判資格を導入 (体操男子・女子、新体操女子)
2016 年 平成 28 年度	1 種審判義務研修会でカテゴリー認定試験を実施（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ） カテゴリーは 2017 年～2020 年まで有効
2017 年 平成 29 年度	カテゴリーによる審判編成 カテゴリー認定試験実施

審判カテゴリーと審判業務（2017 年より）

審判業務	カテゴリー	種別
全日本選手権 世界大会代表選考会 D 審判	Ⅰ	1 種
全国大会（インターハイ 国体 インカレ ジュニア等） D 審判	Ⅰ Ⅱ	1 種
全日本選手権 世界大会代表選考会 全国大会 E 審判	Ⅰ Ⅱ Ⅲ	1 種

2 全日本選手権（世界大会代表選手選考会）に出場する監督・コーチの 1種審判研修会・講習会受講について

採点規則では、監督、コーチの義務として、採点規則や競技規則を熟知していることが定められています。そのためには、監督、コーチの皆様が、審判講習会や研修会を受講して、最新の情報を理解されることが大切になります。国内では、1種審判義務研修会において大陸間講習会からの情報が最初に伝達されます。特に採点規則改訂期に、いち早く新情報を入手し共通理解を深めることは選手育成において極めて重要になります。

体操男子・女子、新体操女子、トランポリンにおいて、2017年（平成29年度）からの全日本選手権、世界大会代表選手選考会でアリーナに入る監督、コーチは平成28年度に開催される1種審判義務研修会または1種審判認定講習会の受講が原則として必要になります。そのため、現在審判資格のない方は3種、2種審判資格を取得して、1種審判義務研修会または1種審判認定講習会を受講する準備をお願いいたします。特別な場合に限り2種、3種資格でも1種審判義務研修会の受講を認め受講証を発行します。将来的には監督、コーチの皆様も1種審判資格を取得して、審判と共に情報の共有を図りながら選手強化に活用していただくようお願い申し上げます。

導入までの年次推移

年 度	導入までの手順
2015年 平成27年度	審判資格取得（2種、3種）
2016年 平成28年度	1種審判義務研修会または1種認定講習会受講（受講証発行） 特例として2種、3種資格でも1種審判義務研修会の受講を認めます
2017年 平成29年度	全日本選手権、世界大会代表選手選考会の監督、コーチは原則的に1種審判義務研修会または1種認定講習会の受講証が必要となります